

平成25年6月 亀岡市議会一般質問

6/11(火)酒井議員

質問

- ・スタジアム誘致に関し市内での検討開始から候補地として手を挙げるまで1年、そこから決定まで1年という十分な期間があった。
- ・しかしながら、開示された公文書では、候補地に係る課題について、環境部署に確認したという形跡がない。
- ・市内でどのようにスタジアムの意思決定に係る情報を共有していったのか。

→ 答弁(市長)

- ・大規模スポーツ施設誘致に係る検討会議を設置して、関係者が情報共有を図り進めてきたところである。

質問

- ・関係者が情報共有してきたとのことであるが、この会議には環境部門が入っていない
- ・候補地を検討するのは様々な課題がある。例えば水道水源への影響調査は、今、実施されている。
- ・こういった課題に関係する部署への検討の指示はいつ行ったのか。

→ 答弁(市長)

- ・環境部門とは、つまりアユモドキの保全に関することであると思うが、これについては、以前から地元と一緒にその保全に取り組んできているところであるし、また提言に基づきサンクチュアリを設置する方向で進めてきたところである。
- ・スタジアム誘致の検討に当たり環境部門に入れていなかったのは、どうしても入れなければならない、また、そこまで気が付いていなかったということでもあるが、それは、市として既にアユモドキの保全に取り組んできており、当然保全していくものと考えていたからである。
- ・地下水については、今後の調査の結果によっては、工法も検討していく必要があると考えている。

質問

- ・関係部門への検討の指示は、誘致が決まる前か、それとも決まった後であったかを確認しているのであるがどうか。

→ 答弁(市長)

- ・具体的な検討の指示は、はっきりは覚えていないが、調査検討には予算も必要であるので、スタジアムの誘致が決まってからだったと思う。

質問

- ・大規模スポーツ施設誘致に係る検討調査委託報告書が平成23年3月に出されている。
- ・この中ではコスト計算はされていないが、これまでの市の答弁のとおり、スタジアム誘致による計り知れない効果というもの確信して誘致されたと理解してよいか。

→ 答弁(市長)

- ・これまでから申し上げてきたが、京都府の具体的な計画がわからなかったため、効果については他のスタジアムを参考に算出したものである。
- ・また、京都学園大学で研究会を設置していただき、追って経済的な効果も出てくると思う。
- ・その他、青少年の育成、亀岡市のPR等々そういった効果もあると考えている。

質問

- ・170万円ほどかけたこの報告書によると、千葉の福田電子アリーナの座席数からの案分計算で経済効果を算出するなどかなり大雑把なものとなっている。
- ・また、今、学園大で研究されているとのことであるが、こういったことは誘致を検討する時に必要な情報であると思うし、その際には市民にも公開すべきだと考える。
- ・今ある情報としては、平成23年の報告書しかないが、今からでも公開すべきと考えるがどうか

→ 答弁(市長)

- ・公開できるものは全て公開していく。これまでからそうしてきていると思っている。

質問

- ・先ほどの平成23年3月の報告書は既に公開されていると理解していいのか。

→ 答弁(市長)

- ・私はそう(公開している)と思っている。

<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこに公開されているのか見つけられなかった。 ・いずれにしても、この報告書に基づき答弁されてきたところであるし、これを見ればどの程度の検討で誘致の意思決定されたかということがわかるので、是非市民にも説明して貰いたい。 ・客席数の案分計算で効果を算出したことは、適切であったか。
<p>→ 市長(答弁)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座席数から算出した数字は正しいと思っている。
<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・亀岡市は京都府に対して自然と共生スタジアムとして、とうとうプレゼンしてきた。また、アユモドキの保全については専門家の意見も聴いてきたし、地元保全団体の理解も得られていると説明してきた。 ・京都府としては、専門家とも協議した上でスタジアムと共存できるサンクチュアリを十分な内容で亀岡市が提示していると認識しているからこそ、亀岡市に決定できたのだと思うがどうか
<p>→ 答弁(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地調査委員会からの質問に対して、可能なものは全て、考え方を説明しや資料を提供してきたところである
<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地調査委員会に答えてきた内容が適切であったかどうかを聞いているものである。 ・平成25年1月11日の京都府と亀岡市の協議報告には、京都府が亀岡市に対して「年末、環境省近畿地方環境事務所野生生物課長らが来庁し、共生ゾーンについて、これでは十分ではないという意見であった。これでアユモドキが生息できるという考え方は詰められているのか？市がこの場所をスタジアムとして手を挙げた段階で、府としては既に専門家とも協議してサンクチュアリとして十分なものを提示していると認識していたのだが」ということが記載されている。 ・サンクチュアリが共存できる十分なものでないとわかっていたら、京都府は亀岡市に決定してたかどうかかわからないと言える重要な点であると考えるがどうか。
<p>→ 答弁(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府がどのような判断で決定されたのかは、私にはわからないが、亀岡に決定していただいていたと思っている。
<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地選定にあたり質問している京都府の意図は、スタジアムとサンクチュアリが両立するのかということである。これが環境省から十分でない指摘されたとうことは、選定に大きな瑕疵があったと言わざるを得ない。 ・また、同じ報告書には、「アユモドキの保全について、先ほどの市の説明で対外的な批判に対応ができるか？大きな事業をするときは、今時は自然関係の専門家の意見を聞いて大丈夫となって初めてやり始めるのが普通」と記載されている。 ・京都府は用地調査委員会で、亀岡市の説明によって、この普通のことではできているはずだと誤解したのである。 ・このことについて、京都府としても確認すべきではなかったのかというふうに考えているのか。
<p>→ 答弁(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質問の意味がよくわからない。 ・京都府として調査すべきであったのではないかということか。
<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府が、亀岡市の説明がよくわからなかったというのであれば、京都府としても調査すべきではなかったというのか、それとも亀岡市の説明が不十分であったというのか、どちらと考えているのか。
<p>→ 答弁(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ほども言ったが、アユモドキについては、市としても地元関係者と一緒になって保全してきており、また提言に基づきサンクチュアリを設置する方向で進めてきたところで、亀岡市の対応がまずかったことはないと思っている。
<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京都府が、亀岡市に聞いていたのは、これまでの保全活動ではなくて、スタジアム建設に伴いサンクチュアリで対応することで大丈夫なのかということだったはずである。 ・現在、外部からもいろいろな意見が出てきているが、亀岡市のこういった誤解されるような説明に責任があると考えるがどうか。
<p>→ 答弁(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤解されるような報告をしたつもりは全くない。
<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・亀岡市は用地調査委員会の質問に適切に回答したが、府が誤解をされたという市の認識だと理解した。
<p>→ 答弁(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府が誤解されたとは思っていないが。

<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの報告書には、「大きな事業をするときは、今時は自然関係の専門家の意見を聞いて大丈夫となって初めてやり始めるのが普通」「環境省近畿地方環境事務所野生生物課長らが来庁し、共生ゾーンについて、これでは十分ではないという意見であった。これでアユモドキが生息できるという考え方は詰められているのか？市がこの場所をスタジアムとして手を挙げた段階で、府としては既に専門家とも協議してサンクチュアリとして十分なものを提示していると認識していたのだが」と京都府が言ったとあり、まさに京都府は用地調査委員会での亀岡市の説明を誤解していたのである。 ・先ほどの答弁では、市内で環境部門と調整されていなかった、誘致が決まってから具体的に指示したとのことであり、環境分門が府から呼び出されて突然このようなことを追われて困ったと思う。 ・用地調査委員会に回答するときに、環境部門にしっかりと確認されたのかどうか答えられたい。
<p>→ 答弁(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境部門とは常に協議している。
<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地調査委員会に回答するときに、環境部門と十分に連携されてあのような回答したと理解していいのか。
<p>→ 答弁(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そのように思ってもらっていいと思う。
<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用地調査委員会には環境部門にもしっかり確認して回答したと。それでも、京都府はもうすでに亀岡市が専門家の意見を聴いて、大丈夫だというふうに誤解されてのだから、というのが市の見解だと思います。 ・一方、12月26日に亀岡市に誘致が決めたが、そのたった2日後に環境省の申し入れによって府との協議の場が持たれ、ここで環境省からスタジアムに伴うアユモドキの保全策について厳しい意見が出されている。 ・そして、2月1日付けで、環境省の見解が京都府と亀岡市に出されており、その条件をクリアするのは非常に厳しいと思う。 ・このように、京都府としては、亀岡市の説明を真に受けて誘致を決定したのであり、この期に及んで環境省からこの保全策では不十分であると言われたことは、府にとって驚愕の事態であったのではと推察する。 ・土地の確保についても、用地調査委員会では賃借で考えており、同意がとれていないのはあと5名で、年度内には責任を持って確保すると説明されてきたが、誘致が決まってから全面買取にするとして、府議会の特別委員会ではm2当たりの単価まで出ているようであるが、市議会には未だに確保できたのかどうかさえ報告もない。 ・自然との共生も用地の確保も、京都府が亀岡市に誘致を決定する際の重要なポイントであり、誘致の決定を得たいばかりに、無理が生じたのではないかと思う。 ・用地委員会への提示内容に齟齬があると思うが、スタジアムの建設はそのまま進めるつもりであるのか。
<p>→ 答弁(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・亀岡市としては、一つ一つ課題をクリアしながら粛々と進め、確実にスタジアムが建設できるよう努力していく。
<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民へは今後どのような内容の情報を提供していくつもりか。
<p>→ 答弁(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開示できるすべての情報を発信していくことが基本と考えている。 ・スタジアムの計画の進捗、環境保全専門家会議の検討状況も含めて、順次、お知らせをしていくこととしている。 ・お知らせしなくとも、開示請求されれば提供しなければならぬし、隠すことは何もないと思っています。
<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年、この時期は地域懇談会があるので、スタジアムの誘致について、京都に対して行ったプレゼンの内容と同様のものを市民にも説明していくとのことであった。 ・今年ももうすぐ地域懇談会が始まるが、スタジアムについて心配や批判を受けている事実も含めて、市民に対して説明していけるのか心配しているところである。 ・日本魚類学会からの2回目の意見では、建設決定自体が妥当性を欠く拙速なものと言われている。このことに対して市は説明できるのか、できるのであれば地域懇談会で説明すべきと考えられるがどうか。
<p>→ 答弁(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明できると考えている。
<p>質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・では、その説明内容をお聞かせ願いたい。
<p>→ 答弁(市長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査も含めて準備中なので、今ここで説明することはできない。

質問

・今はできないが、地域懇談会では、建設計画に不備があったのではないかとということに対してきっちり説明していただけるものと理解した。

→ 答弁(市長)

・地域懇談会の時点でわかっていることは全て説明する。

質問

・スタジアムがどのような配置になるのかという計画上のわかっていること説明してもらいたいと言っているのではない。
・建設決定自体が妥当性を欠く拙速なものと言われているが、このことに対する市の考え方をきっちり説明してもらいたいということである。

質問

・次に、スタジアム建設に関しどのような課題があると認識されているのか。

→ 答弁(市長)

・進めていく上ではいろんな課題が出てくると思うが、専門家や関係団体などのアドバイスをいただきながら、対応していくこととしており、隠すようなことは何もないと考えている。
・市内には大規模スポーツ施設推進プロジェクトチームを設置しており、連携して課題解決に向けて協議を行うこととしている。
・また、京都府とは専用球技場現地連絡会や実務者会議を設置して、関係機関との協議状況の情報共有や意見交換を行うこととしている。
・こういったことを着々と、粛々とやっていく。

質問

スタジアムに関するこれまでの質疑を振りかえると、
・亀岡市では、誘致に関して関係部署との情報共有は最初の内はしていなかったが、誘致が決定してから水道などに検討指示をした。
・コスト計算や、将来のメリット、デメリットについては、京都府の計画内容がわからなかったので検討できなかった。
・京都府が亀岡市に誘致を決定した過程において、亀岡市の用地選定委員会での説明は妥当であったし、京都府が選定したことも妥当であったとの認識である。
・今後は、出てきた課題に対して、その都度粛々と対応していく。
以上のような考え方であるということを確認させていただいた。